

3 様式について

(1) 要請書（様式ア）下北教育事務所提出用 A4判縦型【記入例】

下北教育事務所長 殿	文 書 番 号 令 和 ○ 年 ○ 月 ○ 日 ○○○学校 校長 ○ ○ ○ ○ 印
巡回相談員の派遣要請書	
このことについて、下記のとおり要請します。	
記	
1 日 時 年 月 日 ()	
2 対象児童生徒 (○で囲む)	(1) 特別支援学級・通常の学級 (第 学年) 男・女
3 日 程 (例)	(1) 13:45～13:55 日程等の確認 (2) 14:00～14:45 5時間目参観 (3) 15:00～16:00 学年主任、学級担任、教科担任、特別支援教育コーディネーター、養護教諭等との話し合い (4) 16:00～16:20 <u>校長への報告</u>
4 巡回相談員所属校職・氏名	※ 相談員は助言内容について、校長に報告することとなっているため、報告を受けるための時間を設定する。
5 指導を受けたい内容 (箇条書き)	(1) (2) ※ 58頁の「2(3)要請内容(例)」を参考に、指導を受けたい内容を大まかに記入する。その際、61頁の「フェイスシート(様式第1-2号)」にある【備考】に記載した内容との整合性を図る。

(2) 要請書（様式イ）市町村教育委員会提出用 A4判縦型【記入例】

○○○教育委員会 教育長 ○ ○ ○ ○ 殿	文 書 番 号 令 和 ○ 年 ○ 月 ○ 日 ○○○学校 校長 ○ ○ ○ ○ 印
巡回相談員の派遣要請について	
このことについて、下記のとおり要請しましたので報告します。	
記	
※ 以下は、下北教育事務所に提出する文面と同様である。	

(3) フェイスシート (様式第1-2号) A4判横型

※対象幼児児童生徒1人につき1枚とし、要請書と一緒に提出する。

(様式第1-2号)

特別支援教育巡回相談フェイスシート

※ 学級担任等、相談者の氏名を記入する。

※相談したい内容等について○を書いてください。 (学校) ()

障害種	年齢段階	支援内容	合理的配慮の観点	
視覚障害	乳児期	子どもの学習のつまずきに関する支援	①-1-1	学習上又は生活上の困難を改善・克服するための配慮
聴覚障害	幼児期	子どもの行動上の問題に関する支援	①-1-2	学習内容の変更・調整
盲ろう	小学校期	子どもの実態把握に関する支援	①-2-1	情緒・コミュニケーション及び教材の配慮
肢体不自由	中学校期	子どもの進路や就労に関する支援	①-2-2	学習機会や体験の確保
病弱・身体虚弱	高校期	子どもの心理面に関する支援	①-2-3	心理面・健康面の配慮
言語障害	大学・成人期	学校システム・学級経営等に関する支援	②-1	専門性のある指導体制の整備
情緒障害		教育課程の編成に関する支援	②-2	幼児児童生徒、教職員、保護者、地域の理解啓発を図るための配慮
知的障害		教材・教育支援機器に関する支援	②-3	災害時等の支援体制の整備
知的障害を伴う自閉症		医療・福祉等、他機関との連携に関する支援	③-1	校内環境のバリアフリー化
高機能自閉症 アスペルガー症候群		保護者との連携に関する支援	③-2	発達、障害の状態及び特性等に応じた指導ができる施設・設備の配慮
ADHD		その他()	③-3	災害時等への対応に必要な施設・設備の配慮
LD				
重複障害				
その他				

※ 対象幼児児童生徒の実態や現在の支援内容、指導を受けたい内容等についての詳細を記入する。必要に応じて、校内支援体制の概要を記入する。(巡回相談員が把握できるようにするため。)

※ 一度に複数名の相談を希望する場合は、どの幼児児童生徒のフェイスシートなのかがわかるよう、派遣要請書の「2 対象児童生徒」と対応させ、2(1)、2(2)のように書き、個人名は記載しない。

【備考】

(4) 活用報告書 (様式第3号) A4判横型

(様式第3号)

巡回相談員活用報告書

学校名	校長氏名
-----	------

訪問期日 年 月 日 (曜日)	5 助言や援助の概要
巡回相談員 職名・氏名	
1 主な日程	
2 校内支援体制の概要	
3 学級の概要 通常 特支(知的 自・情 弱視 難聴 肢体 病弱)	6 巡回相談員訪問に係る成果等
4 要請課題	

※「6 巡回相談員訪問に係る成果等」には、巡回相談員訪問後の学校での取組等についても内容に含めて記載願います。